

2025年6月5日

## 長期徐放性術後疼痛治療剤「ATX101」に関する Allay 社とのライセンス契約の 対象地域拡大のお知らせ

丸石製薬株式会社（本社：大阪市鶴見区、代表取締役社長執行役員：井上勝人、以下「丸石製薬」）は、Allay Therapeutics, Inc.（アレイ セラピューティクス、本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Adam Gridley、以下「Allay 社」）が開発中の術後疼痛治療剤「ATX101」およびその後続プログラムに関するライセンス契約について、その対象地域を、日本に加え韓国および台湾に拡大する変更契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本契約の締結に伴い、丸石製薬は、Allay 社に追加出資を行います。本出資によって両社の協力関係がより強固なものとなり、海外での開発促進にも貢献することが期待されています。

ATX101 は、局所麻酔薬ブピバカイン塩酸塩水和物を有効成分とする留置型長期徐放性製剤で、人工膝関節全置換術（以下「TKA」）などの重度な痛みを伴う手術後、約 2 週間にわたって局所で鎮痛効果を発揮することが期待されています。現在、海外において Allay 社が第 IIb 相ランダム化比較試験を実施中で、国内においては丸石製薬が第 I/II 相試験を実施しています。

丸石製薬は、TKA を受けられる患者さんの術後疼痛治療剤として ATX101 を早期に提供することをめざし、海外で開発を進める Allay 社と協調して、日本国内の開発を進めてまいります。

以上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

丸石製薬株式会社 広報グループ

TEL：06-6964-3150

### ATX101 について

本剤は、本邦既承認の局所麻酔薬ブピバカイン塩酸塩水和物を有効成分とした革新的な留置型製剤です。小型の製剤内に高密度の有効成分を含有させることを可能としたため、長期間にわたる鎮痛効果が期待されます。膝関節内に留置後、数分で鎮痛効果が得られ始め、数週

間にわたってブピバカインが徐放された後、残った基剤は水と二酸化炭素に分解されると考えられます。ATX101 は、海外の第 Ib/IIa 相臨床試験において、術後 2 週間にわたる疼痛緩和と、オピオイド使用量の減少が示唆されました。また、忍容性も全般的に良好でした。

### **Allay Therapeutics, Inc. について**

Allay Therapeutics, Inc. は、長期徐放性治療剤という新たなカテゴリーを開拓し、患者さんや医師のために術後疼痛管理を変革することをミッションとしています。局所麻酔薬と生体吸収性ポリマーを組み合わせた独自の技術プラットフォームにより、既存技術よりも大幅に長く、数週間にわたって標的部位に鎮痛効果をもたらすことが可能な生分解性留置製剤を開発しました。同社のリードプログラムである ATX101 は、現在、TKA 患者を対象として第 IIb 相試験が行われています。Allay Therapeutics, Inc. は、サンフランシスコ・ベイエリアとシンガポールの起業家、科学者、臨床医、イノベーターで構成されるダイナミックでグローバルなチームです。

Allay Therapeutics, Inc. の詳細情報については、<https://www.allaytx.com/>をご覧ください。